

NPO 法人市川にオオムラサキを生息させる会

ごあいさつ ～できることから1歩ずつ～



理事長 川添 茂

3年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響は社会全体に大きな影響を与えてきましたが、この5月から「5類感染症」に移行する事により、新たな局面を迎えようとしています。マスクの着用は個人の判断とされましたが、身を守るための適切な行動を、今後も継続していく必要があるのかなという気がいたします。

さて、今年もオオムラサキの越冬幼虫が目覚まし、4月中には、市内幼稚園および小学校、市川市自然博物館への幼虫の配布が終わりました。今年は、これ以外に2名の個人の方と、要望のあった小学校1校にも配布いたしました。少しずつですが、こういった輪が広がっていくのだなという事を実感しております。



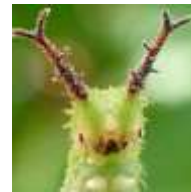
今年に入って、中山小学校の飼育舎の環境整備を2回行ってまいりました。特に、留意したのは、天敵であるアリ対策です。エノキの周囲に、雑草防止用のシートをはり、さらに雨どいを活用した「堀」を埋め込みました。ここに、水を張って、少しでもアリの侵入をくい止めたいと考えてみました。現在、エノキの枝と鉢植えに数頭ずつ幼虫を入れて、周囲をネットで囲った状態です。このまま、サナギまで育てられれば、この飼育舎の中でのオオムラサキの放蝶ができるかも知れません。

オオムラサキ「国蝶」と生息地

村井 吉和

オオムラサキは、梢近くや木のまわりを力強く雄大に飛ぶ姿と、青紫色に輝くオスの翅が大変美しいことから、チョウの愛好者の間でオオムラサキを「国蝶」とする気運が高まり、1957年に昆虫学会によって決められました。

日本では、北海道から沖縄まで全国に生息しています。日本以外では、台湾、朝鮮半島、中国中～南部、ベトナムに生息しています。



2023年度事業計画

- 4月
 - ・オオムラサキの越冬幼虫入手
 - ・富貴島幼稚園・若宮幼稚園・中山小学校若宮小学校・大柏小学校へオオムラサキ幼虫及びエノキの配布(4/13)
 - ・市川市自然博物館幼虫配布
- 5月
 - ・定期総会(5/19)
 - ・オオムラサキ通信発行(第13号)
 - ・オオムラサキの授業打ち合わせ
- 6月
 - ・各小学校においてオオムラサキの学習(9日中山小、12日若宮小、16日大柏小)
 - ・オオムラサキの展示・観察会(6/22～/25)
- 7月
 - ・中山小飼育舎内での放蝶(予定)
- 12月
 - ・オオムラサキ通信発行(第12号)

オオムラサキ観察会の開催について

- 1.日時 6月22日(木)～6月25日(日)
10時～16時
- 2.場所 市川駅南図書館前(裏面パンフ参照)

ホームページはこちらから

<https://omurasaki-ichikawa.jimdofree.com/>



市川市自然博物館3階

7月頃まで、オオムラサキを観察する事が出来ます。市川市動植物園にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。(博物館は動植物園の中にあります。)

支援・協力をお願い

新会員・支援者を募集しています。参加希望者は裏面、参加申込書にてお申込み下さい。(裏面申込書にて)

年会費 ￥1,000
支援金 1口 ￥1,000

事務局

272-0822 市川市宮久保3-3-23
代表者 川添 茂

Tel 090-7189-0188

Mail omurasaki.ichikawa@gmail.com

＜新規会員・支援会員申込書＞

申し込み日 年 月 日

「市川にオオムラサキを生息させる会」の目的に賛同し、会員・支援会員として申し込みます。

お名前	ふりがな
住所	〒 -
電話番号	()
メールアドレス	

*参加申込書に必要事項をご記入の上、下記あてにFAXして下さい。

折り返し、払込取扱票（ゆうちょ銀行）を送付させていただきます。

FAX番号 047-371-5172

川添 茂

＜観察会のお知らせ＞

市川で育ったオオムラサキ観察会

市川で羽化したオオムラサキを観察しに来てください



- ・幼い時から、生物を大切にす
る優しい心を育てましょう。
- ・オオムラサキの幼虫が育つ
エノキを探し大切に育てま
しょう。

市川駅南口図書館前

6月22日(木) -

6月25日(日)

10時 - 16時



- ・市川にオオムラサキは生息していません。
- ・環境汚染の問題に気づき自然環境保全の大切さを啓発する活動に参加してみませんか？

*オオムラサキの生育状況により、予告なく中止する事があります。